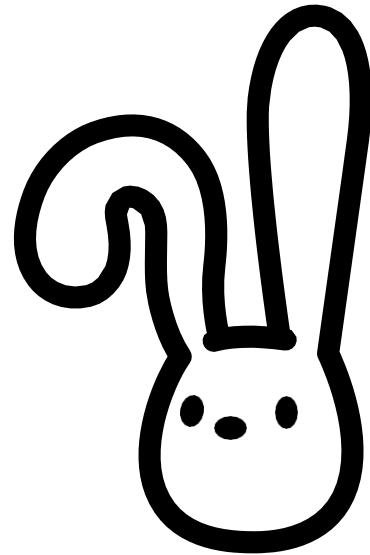


ホワイトペーパー 制作代行

2025/08



ITreview

1

レビューの効果

2

ホワイトペーパーの活用目的・効果

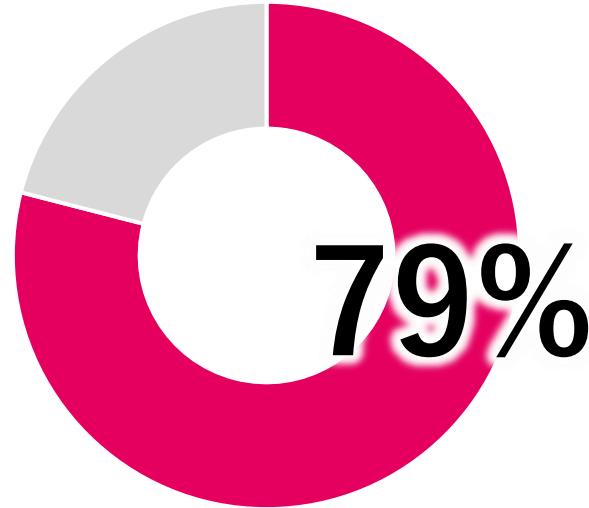
3

各ホワイトペーパー制作代行プラン



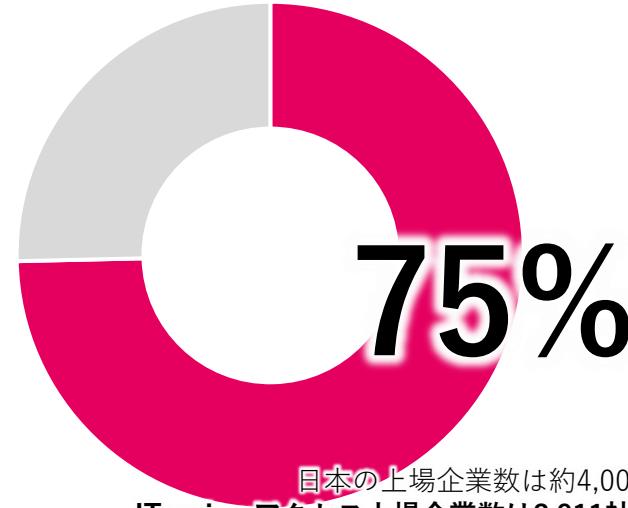
日本では、 SaaS選定の際、レビューサイトの活用が増加しています

ITツール選定時、
ユーザー評価・口コミを確認しますか。



FY23 弊社独自ネット調査
質問) ITツール選定時、ユーザー評価・口コミを確認しますか。

全上場企業の中での
ITreviewアクセス企業割合



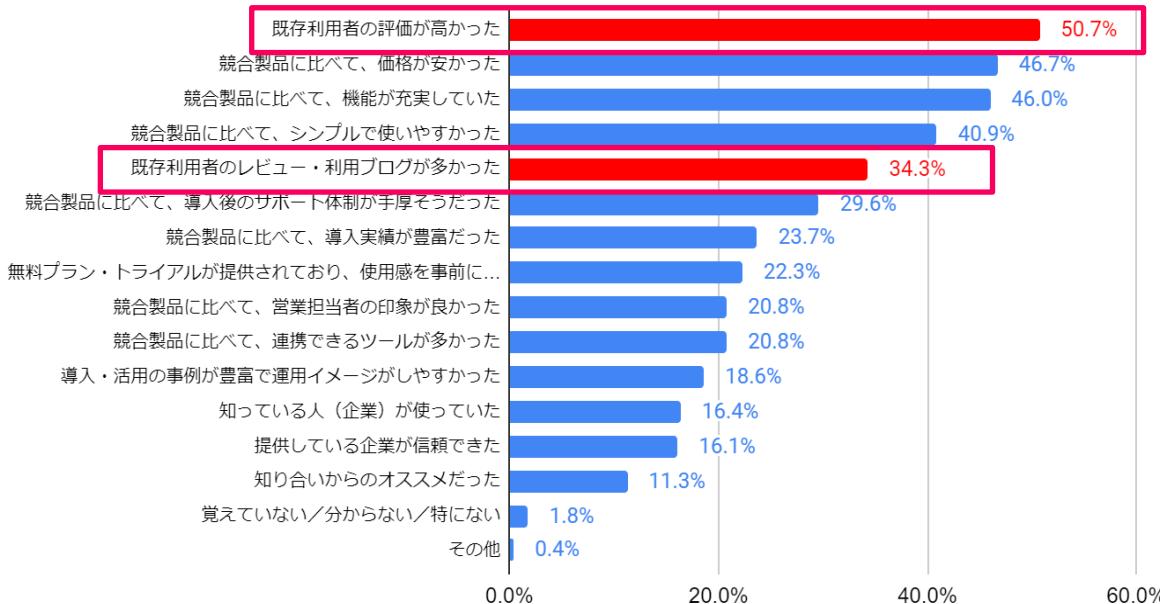
日本の上場企業数は約4,000社
ITreviewアクセス上場企業数は2,911社/年

2023年10月～2024年9月
ITreview全製品ページインテントデータの企業数より算出



ビジネス拡大にレビューがなくてはならないものに！

実際に導入したツールの「導入の決め手」になった理由はなんですか。



※自社調べ 2023年2月
インターネット調査「IT製品・サービス導入に関する調査」過去1年間にSaaS・IT購買の方300名を対象に
※上記設問は複数選択回答データです



ITreviewのレビュー活用ホワイトペーパーで 大きな効果が出ています



ダウンロード数3倍

<https://vendor.itreview.jp/archives/7568>

1

レビューの効果

2

ホワイトペーパーの活用目的・効果

3

各ホワイトペーパー制作代行プラン



レビュー活用型ホワイトペーパーは**準顕在層・顕在層**に効きます。
読者が自分たちの状況と重ね、**同じ成果をイメージしやすくなります。**

商品を知らない
ニーズがあるか不明

潜在層

・ノウハウ型

ニーズはマッチしている
情報収集段階

準顕在層

・レビュー活用型
・事例型

商品を知っていて、
他社も含めて検討段階

顕在層

契約



レビュー活用ホワイトペーパーには 3つの効果が見込めます

リード獲得

準顕在層・顕在層に向けて、抱える課題解決のヒントを与えて問い合わせや商談化を目的とします。

リード育成

メールマーケティング等で添付する資料や、セミナー資料としても活用できます。また、受注見込の高い顧客へと育っていくリード育成にも役立ちます。

顧客満足度の向上

読者にとって有益な情報を発信し続けることで、信頼構築に繋がります。また、知識がなく困っている担当社には、それを補完できるノウハウ系の資料を提供すると喜ばれます。

1

レビューの効果

2

ホワイトペーパーの活用目的・効果

3

各ホワイトペーパー制作代行プラン

› ホワイトペーパー制作代行 価格表



ラインナップ	取材・ライティング付き 自社製品の優位性をPR	レビューと定量データを最大限に 生かしたWP	2レビューから始められる MINパック
	Rich版	Light版	チラシ版
納期（目安）	平均：1～1.5ヶ月	平均：2週間～1ヶ月	平均：1～2週間
構成	全8ページ ※表紙含む	全6ページ ※表紙含む	2ページ ※規定文言入り
サービスに 含まれる物	取材、構成案作成、ライティング、 タイトルコピー案含む 修正は2回まで	デザインテンプレートのご選択、 指定カラーの反映。 修正は2回まで	デザインテンプレートのご選択、 指定カラーの反映。 修正は2回まで
取材	○	×	×
費用	40万円（税抜）～	15万円（税抜）～	5万円（税抜）～

※当該ページに記載の金額に消費税は含まれておりません。サービス改定により金額変更をする場合もございますことご了承くださいませ。
※各プランのサービス活用は二次利用ガイドラインに基づきます。（二次利用ガイドラインはITreviewヘルプページよりご確認ください）



Rich版



1. 対象製品のレビューを確認

※10件以上レビューがあることを目安にしております。

※レビュー数が少ない、もしくは多すぎる等については事前に担当営業までご相談ください。

2. 目的の確認／レビューの簡易分析

インタビュー前に、WPの目的、ターゲット、課題等をご確認。

投稿済みレビューより、レビューを簡易分析した資料をご提示いたします。

3. 対象製品のインタビュー（1回）

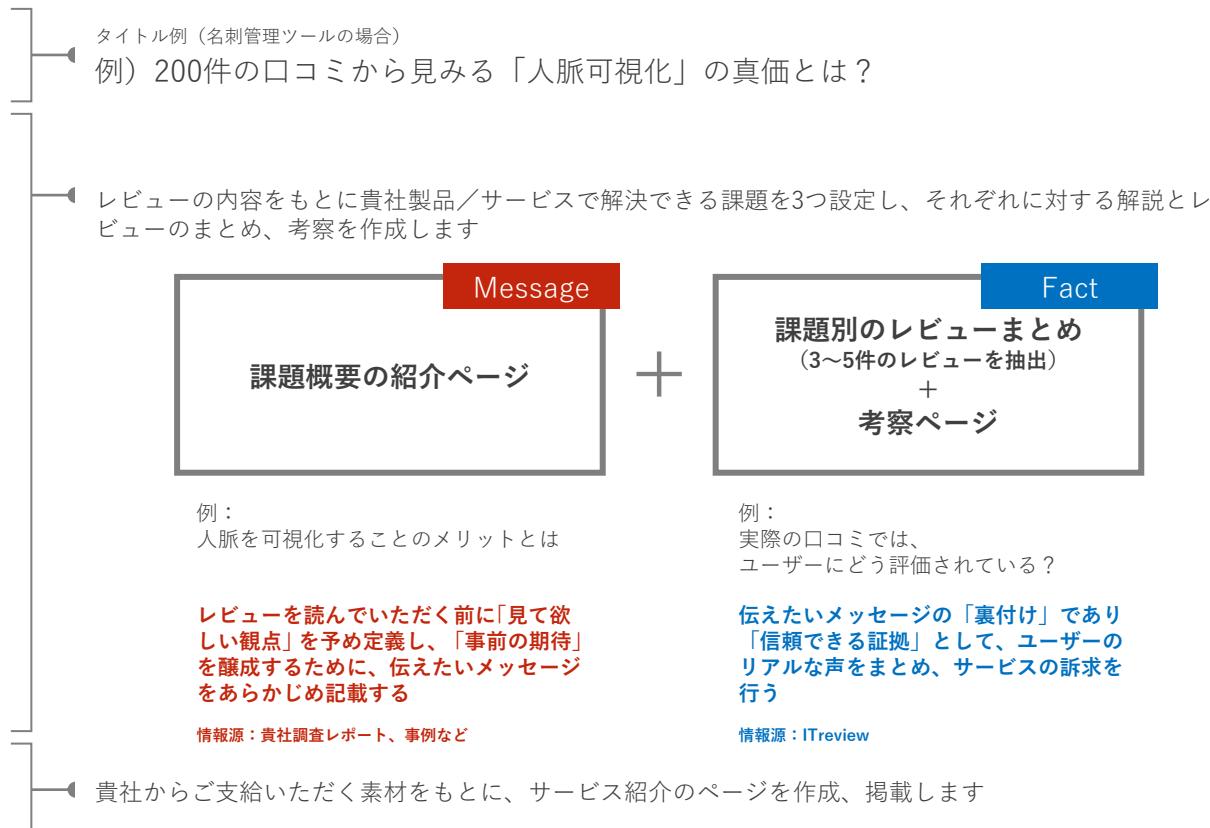
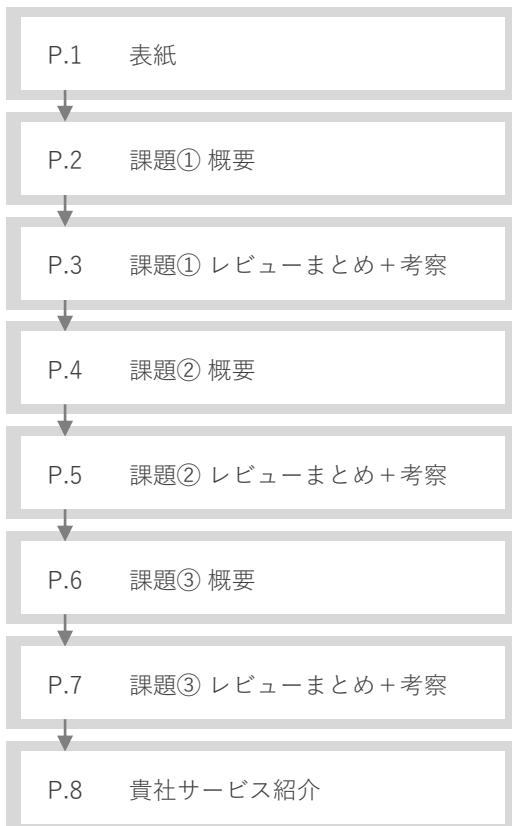
インタビューをもとに、製品理解をもって“活かせる”レビューを選定し制作いたします。

4. 原稿確認、編集、納品

取材から約1ヶ月を目安に納品をさせて頂きます。

原稿確認を行って頂きながら、最終納品を行います。（納品形態：ppt、PDF）

› WhitePaper-Rich版 全体構成案例（8スライド～）



> WhitePaper-Rich版 Outputイメージ



製品の特性や、その製品を取り巻く環境なども含めながら、レビューという顧客の声を製品訴求の1つのコンテンツとして活用頂くことができます。

P1

2019年9月、Google検索 コアアップデートに対応するために
ロコモ(レビュー)が裏付ける
SEOツール選びに欠かせない
『2つのポイント』とは?
November 15th, 2019
Powered By ITreview

P2

Webマーケティング担当者が押さえるべき、Google検索のピックニュースとは?
2019年8月、年に約1億回実施される多いものを「Googleアルゴリズムのピックニュース」と呼び始めました。この記事では、ピックニュースの特徴や、SEOで上位表示されるための方法について解説します。
Googleアルゴリズムは「興味をかき攪拌する」が核心であります。通常のアルゴリズムでは、検索結果の大半は既につづったかたなサイトを評価したことになります。この変更は両者に影響しているマーケティング担当者が多いことも事実です。では、このうちのどちらにしても、マーケティング担当者はどのような変化がされたのでしょうか?
検索順位を下げないために求められる「2つのポイント」
結論からいざると、検索順位を下げるには、「できるだけ複数のコンテンツの複数に集中すること」に市なりません。これは、Googleアルゴリズムが「クリックの質」に基づいて順位を決定しているためです。そして、コンテンツの品質を向上させよう上記、次に2つのポイントを理解して、検索順位を上げるためのSEOツールを選んでください。
Point1 ユーザー心理の理解
Point2 記事制作の「量と品質」のバランス
では、「2つのポイント」について、より詳しく見てみましょう

P3

Point1. ユーザー心理の深い理解
【ユーザー心理の理解（検索意図の把握）】に必要なアプローチ
ユーザーの深い理解を目指すには、まずは「キーワードの検索動機」を見るだけでは不十分です。ユーザーの検索動機を理解するためには、検索動機を理解するのに、何がきっかけで検索されるのですか？
Step 1 「検索するユーザーが何をもって検索しているのか？」(Who)を把握
Step 2 「検索するユーザーが何をもって検索しているのか？」(What)を分析
Step 3 上記を踏まえたユーザー行動やコンテナ属性の観察、結果を察する
SEOツール活用し、検索順位を可視化する
SEOツールを活用すれば、これまで多くの問題が解決した「検索順位」を可視化できます。1回の検索で複数の検索順位を確認することができるので、競合との差異をより明確に把握することができます。
「検索順位」で検索したユーザーの行動を可視化する「検索順位」の構成要素に、検索順位を可視化する

P4～

SEOツールの口コミ(レビュー)
「共起語ツール・サジェスト抽出ツール」による成功の声

Pickup!	Pickup!	Pickup!
株式会社グーニージ 営業・マーケティング ユーザー(利用者) 広告・版面 20~50人未満	宣伝・マーケティング ユーザー(利用者) 情報収集・インターネット 20~50人未満	宣伝・マーケティング ユーザー(利用者) 飲食・出版・マスコミ 500~1000人未満
★★★★★ 記事を作成したときに ユーザーの動きを把握するため ヒートマップを良く使用して おりますが、期間比較なども でき、使いやすいです。	★★★★★ コンテンツの内容を検討する 段階にあたってそれを求める ユーザーのニーズをミエルカ してくれたため、より早く、 かつペルソナがイメージ しやすくなった。	★★★★★ SEOというよりも 顧客理解ための必須ツール。 ユーザーの検索キーワードの 関係をネットワーク図で見る ところが気に入っています。

<https://www.itreview.jp/products/mieica/reviews/20874>

<https://www.itreview.jp/products/mieica/reviews/16079>

<https://www.itreview.jp/products/mieica/reviews/14186>

ITreview

SEOツールの口コミ(レビュー)
「流入キーワード、SEO キーワード調査ツール」による成功の声

Pickup!	Pickup!	Pickup!
デザイン・クリエイティブ ユーザー(利用者) 情報収集・インターネット 20人未満	デザイン・クリエイティブ ユーザー(利用者) 販賣店 50~100人未満	宣伝・マーケティング ユーザー(利用者) マーケティング 100~300人未満
★★★★★ ライティングをする記事のKW 選定やSEOとしての上位掲載サ イトの確認の方法などを知れた ので、記事の質を向上すると て成功し上位にサイトの記事を 掲載せることに成功しました	★★★★★ 競合サイトが使用している単語 や出現頻度を知れる事で、差別 化ポイントや訴求文言が分かる	★★★★★ 導入後は上位サイトにあって、 うちにはないワードなどを瞬時に 知ることができようになった ため、簡単に的確なライフトが できるようになった。

<https://www.itreview.jp/products/mieica/reviews/14339>

<https://www.itreview.jp/products/mieica/reviews/13984>

<https://www.itreview.jp/products/mieica/reviews/13843>

ITreview

※上記はサンプルのため、構成や枚数は対象製品の特長やレビュー数、内容により異なりますことをご了承ください。

› 参考) 「製品ジャンル検討者のユーザー」のニーズに応えるコンテンツ



ユーザー（IT購買者）が特定領域について入門編的な情報を必要としているタイミングでは、次のようなコンテンツの制作が有益です。

1

ツールの概要（+基本用語解説）

例) SEOツールとは何か？

ITreview 製品カテゴリページの説明等を参考に、基本情報をまとめます。

同時に「認識のズレ」を防ぎ社内外でのコミュニケーションミスを減らしてもらうために、関連する用語の定義を紹介します。

2

解決できる課題

例) SEOツールで解決できる課題

ITreview の「どのようなビジネス課題を解決できましたか？」への回答を統合編集し、一般的な「3つの課題」に集約。

+α

1～2つのレビューから、インパクトのある言葉を一言ずつ引用し、ファクトとして提示

3

ここ数年のトレンド

例) 知っておきたいSEO 関連 News

ITmedia の記事から、当該分野において中立的かつ重要な記事をリサーチし、計3記事分を選定。300文字程度の解説と合わせて掲載。

- 例)
・Googleによっての“良い内容”の定義がハックされた結果「WELD」後に起こること(1/3)
- ・「Google Site Search」と「Yahoo!検索 カスタムサーチ」終了でサイト内検索はどう変わる？

4

周辺領域との関連性

例) SEOの周辺領域

「SEO」であれば「サイトへの流入数増、集客したい」という課題があり、同水準では「広告運用」「DMP」「アクセス解析」といったツールがあるため、施策の関連性を図式（概念図・フロー図）で紹介。

5

押さえておきたい選定軸

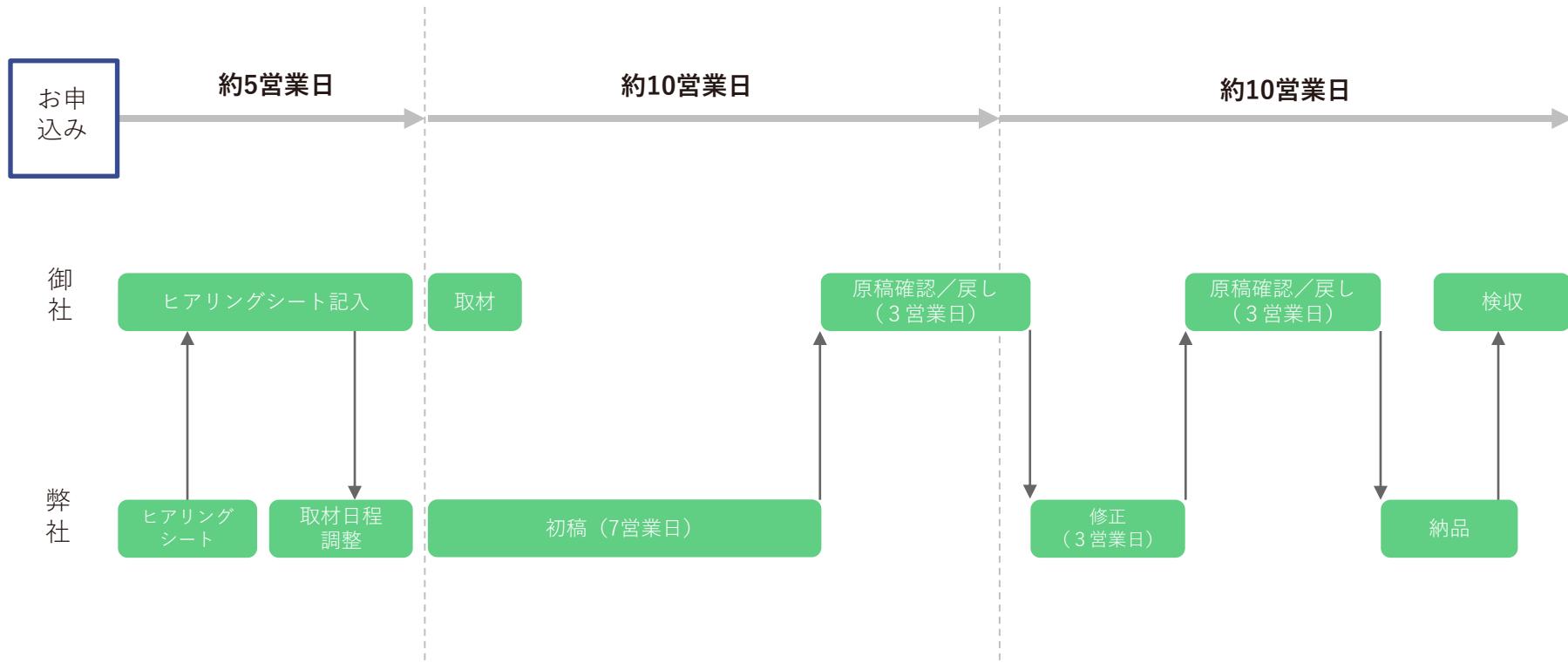
例) SEOツールを選ぶ際の「3つの観点」

ITreview 製品カテゴリページの説明等を参考に、基本情報に加えて、ITreview の「この製品・サービスの良いポイントは何でしょうか？」への回答を統合編集し一般的な「3つの選定軸」として集約。

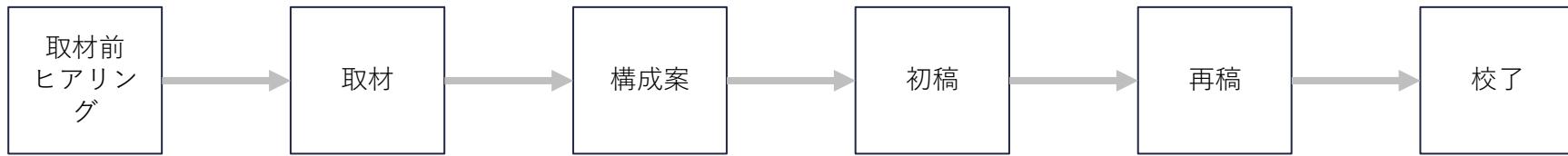
+α

1～2つのレビューから、インパクトのある言葉を一言ずつ引用し、ファクトとして提示

› WhitePaper-Rich版 スケジュールイメージ



› WhitePaper-Rich版 申込～開始からの流れ／ご準備頂きたいこと

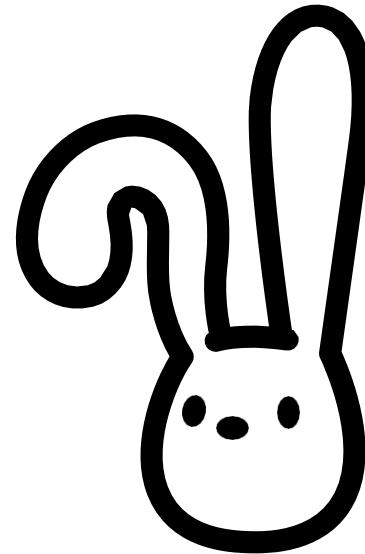


事前にWPの目的等お伺いできている場合は割愛をさせて頂く場合もございます。

時間：1時間
同席者：アイティクラウドの制作パートナー担当
内容：目的、WPのポイントなどをヒアリングさせていただきます。

時間：1時間
同席者：アイティクラウドの制作パートナー
内容：目的、WPのポイントなどをヒアリングさせていただきます。

IT選びに、
革新と確信を



ITreview



Appendix

› 料金プラン

※表示価格は税抜価格となります。
 ※料金プランは、掲載製品及びサービス単位となります。
 ※有償プランは、年間契約となります（一括or月額支払選択可能）。
 ※初期費用には有償プラン切り替え作業が含まれます。



	Starter	Basic	Pro	Expert
コンセプト	UX強化と レビュー活用	カテゴリーにおける 優位性をPR	インテントデータ活用と No.1コンテンツ	レビュー分析・競合分析 顧客の声を元に事業戦略
初期費用	10万円			
月額費用 (年間契約)	10万円/月 (120万円/年)	15万円/月 (180万円/年)	20万円/月 (240万円/年)	30万円/月 (360万円/年)
主要機能 ・ コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Freeの機能すべて ✓ カバー画像/資料/動画の設置 ✓ ピックアップレビュー設置 ✓ コメントバック/メッセージ ✓ レビュー/満足度の二次利用 ✓ 送客ボタン(製品ページ) ✓ リファレンスLPの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Starter以下の機能すべて ✓ アワード受賞バッジ二次利用 ✓ Grid二次利用 ✓ 比較表二次利用 ✓ 送客ボタン(カテゴリーページ) ✓ 相互サイトトラッキング ✓ カテゴリーダッシュボード 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Basic以下の機能すべて ✓ カテゴリーレポート二次利用 ✓ No.1表記の利用 ✓ 「%」表記コンテンツの利用 ✓ 特定条件の通知機能(※) <small>※ターゲット業種や競合企業が 自社ページを訪問した際など</small> 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Pro以下の機能すべて ✓ オリジナル設問の設定 ✓ 自社レビューの仕分け/分析 ✓ 競合レビューの分析機能 ✓ 詳細データレポート提供
インテント データ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自社製品ページ ✓ カテゴリーページ(所属1カテゴリまで) ✓ 直近30日のホットユーザー 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Starterのデータ全て ✓ カテゴリーページ(所属3カテゴリまで) ✓ 外部システム連携 ✓ インテントレポート 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Basic以下のデータ全て ✓ カテゴリーページ(所属5カテゴリまで) ✓ 自社製品比較ページ ✓ 競合×競合の比較ページ ✓ 同カテゴリーの他製品ページ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Pro以下のデータ全て ✓ 全所属カテゴリーぺージ ✓ 他カテゴリーぺージ(2カテゴリまで) ✓ キュレーションぺージ
レビュー収集用 原資支給	Amazonギフトカード 50,000円／年	Amazonギフトカード 100,000円／年	Amazonギフトカード 150,000円／年	Amazonギフトカード 200,000円／年
リード獲得	無制限			
支援	専任のカスタマーサクセスによる支援			



> 料金プラン特徴【機能+コンテンツ活用】

Starter

ITreview訪問者への
UX最適化とレビューの活用



カバー画像等
製品ページコンテンツ拡充

ツール比較・検討No.1サイト
<https://www.itreview.jp/review>
高いポイント
得意なツールやサービスなどを詳しく、わかりやすくしてもらっているサイトです。
新規登録、会員登録、新規登録のビギナをサポートすることができます。また、
新規登録・会員登録の際に問題が発生する場合に、即座に対応してもらえる点が、非常に評価されています。

新規登録
<https://www.itreview.jp/review>

ピックアップレビュー掲載
レビューへのコメントバック

レビューの二次活用

(例) レビューコンテンツをホワイトペーパーで。
<https://www.itreview.jp/review>

外部送客ボタン
&カバー画像リンク

製品が気になった方はこちら

資料をダウンロード

Basic

カテゴリーにおける
優位性をPR



相互送客トラッキング

Pro

中立的なNo.1表記の
二次利用



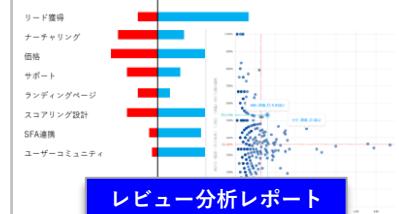
カテゴリーレポート
二次利用

Expert

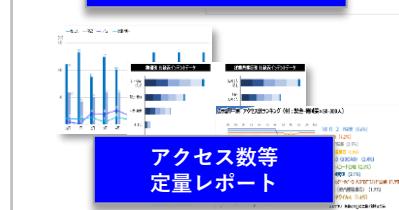
レビュー分析・競合分析
顧客の声を元に事業戦略



オリジナル設問設定



レビュー分析レポート



› 料金プラン特徴【インテントデータ活用】



Starter

ベンダー様製品ページ
カテゴリページ (所属1カテゴリ)



Basic

外部システム連携
インテントデータレポート
カテゴリページ（所属3カテゴリ）
+ Starterプラン



総案件	レビュー閲覧案件	マッチ率
1555件	434件	27.9%



インテントデータ レポート

受注数
142

受注率	受注率	受注率
30.3%	31.3%	21.9%

Pro

比較対象ページ、動画/資料 + Basicプラン



動画・資料閲覧



較対象となつた
他社製品

Expert

所属全カテゴリページ
所属以外2カテゴリ
+Proプラン



登録している 全カテゴリ



所属以外のカテゴリ